

Ⅲ 調査結果の要約

Ⅲ 調査結果の要約

1. 水道の利用状況について

(1) 水道水の「味」

入間市の水道水の「味」について聞いたところ、「おいしい」(7.1%)と「まあおいしい」(22.0%)を合わせた『おいしい(計)』(29.1%)は約3割となっている。一方、「あまりおいしくない」(18.9%)と「まったくおいしくない」(5.0%)を合わせた『おいしくない(計)』(23.9%)は2割を超えている。また、「どちらともいえない」(45.0%)は4割半ばとなっている。

(2) 飲み水や調理用の水として利用している水

家庭で飲み水や調理用の水として、どのような水を利用しているか聞いたところ、「水道水をそのまま使用している」(44.5%)が4割半ば、「蛇口に浄水器・整水器を設置して使用している」(41.2%)が4割を超え、この2項目が高くなっている。次いで「水道水を煮沸して使用している」(20.2%)、「ボトルウォーターの水を使用している」(17.1%)となっている。

(3) 浄水器やボトルウォーターを利用する理由

「蛇口に浄水器・整水器を設置して使用している」「ボトルウォーターの水を使用している」「お茶・コーヒー・水割り等にはボトルウォーターの水を使用している」「その他」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「手軽においしい水が飲めるから」(42.0%)が4割を超えて最も高く、次いで「安全だと思うから」(39.8%)、「水道の水がおいしくないから」(28.8%)となっている。

(4) 節水意識

日頃から節水を心がけているか聞いたところ、「いつも節水に心がけている」(48.9%)が5割近くで最も高く、これに「時々節水に心がけている」(36.6%)を合わせた『節水に心がけている(計)』(85.5%)は8割半ばとなっている。一方、「喝水がひどくなってきたら、節水する」(5.8%)と「節水を意識したことはない」(7.8%)はともに1割未満となっている。

(5) 節水方法

節水意識で、「いつも節水に心がけている」「時々節水に心がけている」「喝水がひどくなってきたら、節水する」と答えた人に、具体的にどのような節水をしているか聞いたところ、「こまめに蛇口を閉める」(79.6%)が8割で最も高く、次いで「風呂の水を洗濯に使う」(41.5%)、「洗濯の回数を減らす」(19.6%)、「庭などへの散水を控える」(13.3%)となっている。

2. 防災対策について

(1) 災害時に対する備え

家庭での災害時に対する備えを聞いたところ、「市販のボトル入りの水などを備蓄している」(64.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「非常用簡易トイレなどを用意している」(19.1%)、「災害時に配られる飲料水を受け取るための給水袋などの容器を用意している」(18.1%)となっている。一方、「何もしていない」(24.7%)は2割半ばとなっている。

(2) 水の備蓄量

何日分の水を備蓄しているか聞いたところ、「2～3日分」(36.3%)が3割半ばで最も高く、これに「1日分」(17.2%)、「4～6日分」(11.5%)、「1週間分以上」(7.3%)を合わせた『備蓄している(計)』(72.3%)は7割を超えている。一方、「備蓄していない」(25.5%)は2割半ばとなっている。

(3) 断水時に一番早く知りたい情報

断水時に一番早く知りたい情報を聞いたところ、「応急給水を行う場所の情報」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「断水復旧時期の見込み」(32.3%)、「水が出るエリア・出ないエリアの情報」(11.7%)となっている。

(4) 「応急給水所」の認知度

「応急給水所」の所在地が分かるものは何カ所あるか聞いたところ、「2カ所知っている」(27.3%)が3割近くで最も高く、次いで「1カ所知っている」(24.0%)が2割半ばで、知っている割合を合わせた『1カ所以上知っている(計)』(77.1%)は8割近くとなっている。一方、「全部知らない」(21.1%)は2割を超えている。

3. 上下水道部からの広報について

(1) 水道に関して知りたい情報

水道に関してどのような情報を知りたいか聞いたところ、「水道水の水質」(64.8%)が6割半ばで最も高く、次いで「水道料金」(45.6%)、「地震対策の現状」(31.4%)となっている。

(2) 下水道に関して知りたい情報

下水道に関してどのような情報を知りたいか聞いたところ、「下水道管などの老朽化の現状」(50.8%)が約5割で最も高く、次いで「下水道使用料」(35.6%)、「下水道管などの耐震化の現状」(32.2%)となっている。

(3) 情報提供手段

情報をどのような方法で知らせてほしいか聞いたところ、「市広報紙(広報いるま)」(76.3%)が7割半ばで最も高く、次いで「市のホームページ」(39.2%)、「上下水道部の広報紙(上下水道トピックス)」(14.7%)となっている。

4. 水道の水源について

(1) 水源の周知度

入間市の水源について知っているか聞いたところ、「まったく知らなかった」(54.3%)が5割半ばで最も高く、これに「あまり知らなかった」(30.1%)を合わせた『知らなかった(計)』(84.4%)は8割半ばとなっている。一方、「知っている」(5.2%)と「ある程度は知っている」(9.2%)を合わせた『知っている(計)』(14.4%)は1割半ばとなっている。

(2) 「親子ダム施設等見学会」の認知度

「親子ダム施設等見学会」を実施していることを知っているか聞いたところ、「知っている」(7.4%)は1割未満となっており、「知らなかった」(91.1%)が9割を超えている。

(3) 「親子ダム施設等見学会」の実施

「親子ダム施設等見学会」を「知っている」と答えた人に、今後の実施について聞いたところ、「今後も継続すべき」(94.7%)、「廃止すべき」(1.1%)となっている。

5. 水道料金について

(1) 水道料金の認知度

自宅の水道料金を知っているか聞いたところ、「知っている」(86.6%)が9割近く、「知らなかった」(12.8%)は1割を超えている。

(2) 支払い方法

水道料金の支払い方法を聞いたところ、「口座振替」(83.6%)が8割を超えて最も高く、次いで「納付書により金融機関の窓口やコンビニエンスストア等で支払う」(10.6%)、「クレジットカードで支払う」(4.5%)となっている。

(3) 他の公共料金との比較

水道料金は、他の公共料金と比べて高いと思うか、安いと思うか聞いたところ、「どちらとも言えない」(49.7%)が5割で最も高くなっている。また、「高いと思う」(15.0%)と「やや高いと思う」(17.6%)を合わせた『高いと思う(計)』(32.6%)は3割を超えている。一方、「やや安いと思う」(11.4%)と「安いと思う」(5.2%)を合わせた『安いと思う(計)』(16.6%)は2割近くとなっている。

(4) 料金体系

水道料金の料金体系について聞いたところ、「現在の料金体系が良いと思う」(46.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「基本水量制が良いと思う」(25.0%)、「どれだけ使っても単価は同じにすべきである」(19.1%)、「使用量が増すごとに単価を安くすべきである」(8.0%)となっている。

6. 水道事業について

(1) 水道サービスに対する満足度

現在の水道サービスに対して満足しているか聞いたところ、「どちらとも言えない」(42.8%)が4割を超えて最も高くなっている。また、「満足している」(13.9%)と「まあ満足している」(28.1%)を合わせた『満足している(計)』(42.0%)は4割を超えている。一方、「あまり満足していない」(11.4%)と「満足していない」(3.1%)を合わせた『満足していない(計)』(14.5%)は1割半ばとなっている。

(2) 満足している理由

現在の水道サービスに「満足している」「まあ満足している」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「安全性が高いから」(74.5%)が7割半ばで最も高く、次いで「料金が安いから」(15.1%)、「水道料金の支払い方法が充実しているから」(12.3%)、「味がおいしいから」(9.9%)となっている。

(3) 満足していない理由

現在の水道サービスに「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「料金が安いから」(70.3%)が7割で最も高く、次いで「味がまずいから」(30.3%)、「安全性が低いから」(8.6%)となっている。

(4) 財源の認知度

水道事業の経営に税金が使われていないことを知っているか聞いたところ、「知っている」(21.5%)が2割を超え、「知らなかった」(77.9%)は8割近くとなっている。

(5) 耐震管への取替工事の認知度

耐震管に取り替える工事を計画的に実施していることを知っているか聞いたところ、「知っている」(43.8%)が4割を超え、「知らなかった」(55.7%)は5割半ばとなっている。

(6) 耐震管への取替工事の実施

耐震管への取替工事の実施について聞いたところ、「現在の計画どおり、令和8年度末に40%となるよう工事を実施すればよい」(44.1%)が4割半ば、「少しでも100%に近づけるよう年間5.5km以上、工事を実施したほうがよい」(42.4%)が4割を超えて高くなっている。次いで「令和8年度末の40%にはこだわらず、経費を抑えた工事を実施したほうがよい」(8.7%)となっている。

(7) 水道事業の費用負担

安定した水道水の供給のための費用負担について聞いたところ、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」(53.4%)が5割を超え、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した施設の維持管理や改築更新のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」(41.3%)が4割を超えて高くなっている。

(8) 優先的に実施すべき水道事業の取り組み

水道事業の取り組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取り組みを聞いたところ、「安定給水の継続維持」(83.7%)が8割を超えて最も高く、次いで「水質に不安のない安全な水道の実現」(76.4%)、「災害に強い水道の実現」(61.1%)、「おいしい水の供給」(18.4%)となっている。

7. 下水道使用料について

(1) 下水道使用料の認知度

自宅の下水道使用料を知っているか聞いたところ、「知っている」(74.7%)が7割半ば、「知らなかった」(23.7%)は2割を超えている。

(2) 他の公共料金との比較

下水道使用料は、他の公共料金と比べて高いと思うか、安いと思うか聞いたところ、「どちらとも言えない」(57.1%)が6割近くで最も高くなっている。また、「高いと思う」(13.6%)と「やや高いと思う」(16.7%)を合わせた『高いと思う(計)』(30.3%)は3割となっている。一方、「やや安いと思う」(8.2%)と「安いと思う」(2.7%)を合わせた『安いと思う(計)』(10.9%)は約1割となっている。

(3) 使用料体系

下水道使用料の使用料体系について聞いたところ、「基本水量は1カ月10^m3のままでいい(現行の体系)」(58.7%)が6割近くで最も高く、次いで「基本水量をなくし、使用量に応じた使用料にしたほうがいい」(19.5%)、「基本水量を1カ月10^m3より増やしたほうがいい」(11.2%)となっている。

8. 下水道事業について

(1) 下水道サービスに対する満足度

現在の下水道サービスに対して満足しているか聞いたところ、「どちらとも言えない」(42.4%)が4割を超えて最も高くなっている。また、「満足している」(14.3%)と「まあ満足している」(31.9%)を合わせた『満足している(計)』(46.2%)は4割半ばとなっている。一方、「あまり満足していない」(6.7%)と「満足していない」(2.6%)を合わせた『満足していない(計)』(9.3%)は約1割となっている。

(2) 満足している理由

現在の下水道サービスに「満足している」「まあ満足している」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「衛生的で快適な生活を送ることができているから」(93.7%)が9割を超えて最も高く、次いで「河川などの自然環境の保全に貢献できているから」(44.1%)、「下水道使用料(水道料金と一括請求)の支払い方法が充実しているから」(12.1%)となっている。

(3) 満足していない理由

現在の下水道サービスに「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「使用料が高いから」(84.8%)が8割半ばで最も高く、次いで「衛生的で快適な生活を送ることができていないから」(10.5%)、「河川などの自然環境の保全に貢献できていないから」(8.6%)となっている。

(4) 下水道運営の費用負担

安定した下水道運営のための費用負担について聞いたところ、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」(53.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した下水道管などの維持管理や改築のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」(40.8%)となっている。

(5) 優先的に実施すべき下水道事業の取り組み

下水道事業の取り組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取り組みを聞いたところ、「下水道管などの補修や修繕」(79.2%)が約8割で最も高く、次いで「下水道管などの調査や点検」(70.9%)、「下水道管などの耐震化」(54.9%)、「下水道管などの改築(布設替えや管渠更生)」(28.9%)となっている。

9. 水道お客様センター等について

(1) 「入間市水道お客様センター」の認知度

「入間市水道お客様センター」を利用したことはあるか聞いたところ、『「入間市水道お客様センター」を知らない」(62.3%)が6割を超えて最も高くなっている。また、「あることは知っていたが、利用したことがない」(29.1%)が約3割となっており、「2カ所とも利用したことがある」(1.1%)、「市役所内のセンターだけ利用したことがある」(3.4%)、「市役所外のセンターだけ利用したことがある」(2.8%)を合わせた『「利用したことがある(計)」(7.3%)は1割未満となっている。

(2) 「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直し

「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直しについて聞いたところ、「今のままでよい」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」(32.6%)、「平日(月～金曜日)のみ利用できる市役所外のセンターに集約すべき」(10.8%)となっている。

(3) 土・日曜日の開所時間

「入間市水道お客様センター」は「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」と答えた人に、土・日曜日の開所時間について聞いたところ、「現在と同じ、土・日曜日の8:00～12:00に開所する」(62.3%)が6割を超えて最も高く、次いで「日曜日を閉鎖し、土曜日の8:00～18:00に開所時間を延ばす」(10.3%)、「日曜日を閉鎖し、土曜日の8:00～12:00に開所する」(9.9%)となっている。

(4) 上下水道部の場所

上下水道部の場所について聞いたところ、「市庁舎内がよい」(55.2%)が5割半ば、「市庁舎と別の場所がよい」(6.2%)は1割未満となっている。また、「どちらともいえない」(36.5%)は4割近くとなっている。